

特別活動

各活動の特質を踏まえた児童生徒の自主的、実践的活動の充実

授業づくりのポイント（学級活動）

※数字は活動例と対応

学級活動(1)

- ① 必要感のある議題を学級全員で決定できるよう、日頃から様々な関わりの中で、よりよい学級・学校生活づくりへの児童生徒の問題意識を喚起する。
- ② よりよい合意形成が図られるよう、具体的な実践の場面を想定した話し合いにするとともに、発達段階に即した指導を行う。
- ③ 決めたことを協働して実践し、その成果や課題を実感できるよう、事後の活動の充実を図るとともに、実践の様子や振り返りを掲示するなどして共有する。

学級活動(2)(3)

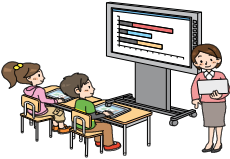

- ① 題材を自分事として捉え、問題意識を高めることができるよう、アンケートや資料等を活用する。
- ② 話し合いを通して、自分に合った具体的な実践目標や解決方法を意思決定できるよう、多様な視点で話し合ったり、必要に応じて意思決定したことを再確認したりする場面を設定する。
- ③ 決めたことを粘り強く実践し、現在や将来の生活について意識することができるよう、定期的な振り返りの時間を設定し、実践状況を確認し合ったり、目標の見直しを図ったりする。

学級活動(1)～(3)の特質の違いを踏まえるとともに、事前の「問題の発見・確認」から事後の「決めたことの実践」「振り返り」までの一連の学習過程を通して資質・能力を育むことが大切です。

自分に合った具体的な解決方法の意思決定を大切にした活動例 ～学級活動(2)～

小学校第4学年 題材名「時と場に応じた話し方」(2)イ よりよい人間関係の形成

〈本時のねらい〉 時と場に応じた話し方の大切さを実感し、相手の気持ちに配慮した話し方を考えることができるようにする。

	児童の活動	指導上の留意点		
問題の発見・確認	事前	<ul style="list-style-type: none"> これまでの生活を振り返り、アンケートに記入する。 ①友達と会話をしていて、うれしい気持ちになったことがありますか。 ②友達と会話をしていて、いやな気持ちになったことがありますか。 	<ul style="list-style-type: none"> うれしい気持ちになったことと、嫌な気持ちになったことを比較させ、話し方によって相手の気持ちや行動に大きな影響を与えることに気付くことができるようにする。 	<p>事前に題材を提示したり事前調査等を実施したりすることで、現在の自分の状況についてあらかじめ見つけさせ、題材に関する問題意識を高めることが大切です。①</p>
	本時	<p>1 アンケート結果から話し方に関わる課題を把握する。</p>  <p>友達と話すときに大切なことを考え、自分が気を付けることを決めよう。</p> <p>2 嫌な気持ちになったとき、どんな場面でどのように言われたのかを話し合う。 (例)・清掃を頑張っているとき「ちゃんとやってよ」「下手」</p> <p>3 うれしい気持ちになった経験も踏まえながら、どのような解決方法があるのかを話し合う。 (グループ→全体) (例)・友達がやる気になるような言葉掛けをする。 「大変な所は一緒に掃除しよう」</p> <p>4 本時を振り返り、自分がこれから気を付けることを決めて、学習カードに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果をグラフや表で示し、学級の実態を把握できるようにする。 友達の話し方についても振り返らせ、自己の課題に気付くことができるようにする。 嫌な気持ちになった言葉だけでなく、その場面について想起させることで、学級や自己の実態を具体的に把握できるようにする。 友達の発言に対して質問するなど、主体的に取り組むことができるような交流活動を設定し、多様な解決方法を考えることができるようにする。 具体的な場面を想起させ、自己の課題に沿った実現可能な自己評価できるようなめあてを考えることができるようにする。 	<p>アンケート結果を電子黒板等で提示するなど、ICT機器を効果的に活用します。インタビューや映像、写真、音声の記録等を活用することも有効です。①</p> <p>児童が自己の課題を意識しながら話し合い、解決方法を見付けられるようにすることが大切です。②</p> <p>個々の児童の生活経験や発想の違いを生かしながら、解決方法を見付けられるようにします。視野を広げて自分に合った意思決定ができるよう、グループの中で意見を出し合った上で全体で話し合うことも有効です。②</p>
決めたことの実践	事後	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定したことを実践する。 自分の立てためあてや実践等について振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の学習カードを教室に掲示し、実践への意欲付けとなるようにする。 児童の実践の状況に応じて、新たにめあてを立てて主体的に取り組むことができるよう助言する。 	<p>教師の適切な指導の下、児童が記録した学習カード等を蓄積するとともに、それらを振り返りながら、新たな生活や学習への目標を見付けることができます。③</p>
振り返り				
次の課題解決へ				